

## 平成27年度の主なごみ減量啓発の取組について

### 1 事業系ごみの減量啓発

(1) 東北六魂祭開催を前に、多くの観光客を迎える宿泊施設や飲食店を集中的に訪問し、食べ残し等ごみの減量啓発「もったいないアクション」への協力を依頼しました。4～5月の2ヶ月間で、82事業所を訪問し、ポスターの掲示約115枚、啓発ポップ約656個の設置の協力を得ることができました。

(2) 事業所で発生するごみの減量や雑がみの分別等について分かりやすく記載した啓発チラシを作成し、商工会議所の会報へ同封することにより、会員である約5,500事業所へ周知を図ることとしています。



(3) 事業所への訪問指導の際、管理責任者への指導のほか、協力を得られる事業所へは、全従業員への「ごみ減量お試しセット（啓発ミニチラシ、雑がみ分別袋、生ごみ水切りネット等）」の配布を依頼し、事業所内におけるごみ減量の意識の向上に合わせて、従業員が家庭に戻った際の、家庭ごみの減量の意識の向上も図ることとしています。

### 2 家庭系ごみの減量啓発

(1) ごみ減量啓発用クリアーフォルダを作成し、今年度、総合環境学習で総合環境センターに見学を訪れる市内の小学校4年生（約2,000人）に配布することとしています。小学生にも分かりやすい内容、と好評を得ています。

(2) 各種イベントの参加者や、事業所の従業員等への配布も予定している「ごみ減量お試しセット」に、ごみの減量に最も効果的である「生ごみの水切り」と「雑がみの分別」の必要性について分かりやすく記載したミニサイズの啓発チラシを添付し、より多くの市民に、家庭で簡単にできるごみ減量の取組の周知を図ることとしています。

(3) 「全部食べきることで生ごみを減らす」ことに着目し、余った料理を変身させるリメイクレシピや、大量にもらった野菜を使いきるアイデアなどを、今年度、市民から募集することとしています。また、応募のあったものの中から優秀なレシピやアイデアを選出し、「食べきりレシピ集」を作成して、今後のごみ減量啓発に活用することとしています。

(4) そのほか、年4回のごみ減量アクションの開催、子育てイベント時のキャンペーンなど、機会を捉えて、若い世代等への啓発に努めます。